

「森の春を見つけよう」が開催されました！

5月8日（日）、今年度初のイベント「森の春を見つけよう」が開催されました。

今回は4歳のお子さんから大学生、ご年配の方まで、本当に幅広い世代の方にご参加いただくことができました。

今回のイベントでは、「県民の森の春探し」をプログラムに組みこんだ自然散策を行いました。それぞれに配布されたフィールドマップに書かれている「春探し」のヒントを手がかりに、目を閉じてみたり、においをかいてみたり、はたまた座り込んでルーペを覗いてみたりして、みなさんたくさんの「春」を見つけることができたようでした。

また、当日はみんなの広場において「野だて」（野外でのお茶会）も同時開催いたしました。残念ながら桜は満開とまではいきませんでしたが、天気にも恵まれたたくさんの方が「日本の春」を満喫していたようです。



何か発見！？



今年度初の試み、「野だて」も大好評でした



ふむふむ・・・



ダッチオープンで野外料理をはじめよう

パン

材料（4人分、約1000円）

強力粉300g、ドライイースト大さじ1、牛乳100cc、卵1個、バター50g、塩小さじ1、砂糖小さじ1

- ①100ccのぬるま湯にイーストと砂糖を溶かし、30℃くらいの場所で発酵させる。（寒いときは焚き火のそばなど）しばらくして表面がふくらんできたらうまく発酵しているサイン。
- ②常温で柔らかくしたバターと粉、塩を混ぜ合わせサラサラになったら牛乳、溶いた卵、①を順に少しずつ混ぜ合わせる。
- ③ある程度まとまったら、平らな場所で両手のひらを使い、ひたすらこねる。生地に弾力と粘りがでるまで何度も繰り返す。
- ④生地を丸くまとめ、鍋や大きな器に入れてラップをし、発酵させる。
- ⑤30分から1時間かけて2～3倍までの大きさになるまで発酵させたら、生地を取り出し、軽くこねて中のガスを抜く。
- ⑥適当な大きさに分け、ダッチオープンに並べる。
- ⑦下はごく弱火、フタの上は強火にして30～40分様子を見ながら火にかける。

⑤まで終わってから、木の枝に生地をくるくる巻き直接火にかけて焼くとツイストパンにすることもできるよ！昨年度のキャンプ教室でも挑戦しました。



「木工センター」に行ってみようよ！！

木工センターでは、いつでもだれでも木工を体験できるほか、毎月1回、木工教室を開催しています。（有料）

今回は、木工センターでいつでも体験できる「動物の切抜き」（300円）に挑戦しました！！

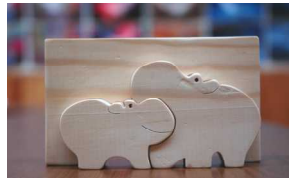
- ①さあ、板に張ってあるイラストの線を糸のこで切ってみましょう！糸のこは正しく使えるかな？
- ②線のとおり上手に切るのはなかなか難しい…板は決して押さえつけずに手を軽く添えて「押しながら動かす」ことを意識するのがコツです。
- ③紙をはがし、仕上げにやすりをかけて…
- ④完成！！かわいいでしょ？



慎重に、慎重に…



木工センターの中の様子。いろいろな機械があります。



県民の森流 楽しいお勉強シリーズ ～似たもの同士～

5月中、フォレスト1の玄関ホールで「似たもの同士」の展示を行いました。ふきのとうのオスとメス。キクザキイチゲとアズマイチゲ。とても好評だったので、今回このコーナーでもタンポポの「似たもの同士」をご紹介します。

「セイヨウタンポポ」と「エゾタンポポ」

「タンポポ」ほど身近な花はないかもしれませんが、でも、実はタンポポにも種類があるのをご存知ですか？

大きく分けると、昔から日本に生えていたのものと、外国から入ってきたものの2種類があります。名前のとおり、セイヨウタンポポは外来種のひとつ、エゾタンポポは日本在来種のひとつです。それでは比べてみましょう！

見分け方は簡単。総苞(そうほう)と呼ばれる花の首の部分を見てください。反り返っているのがセイヨウタンポポ、反り返らずごろっとしているのがエゾタンポポです。



エゾタンポポ セイヨウタンポポ

これはどっち？と気にするようになると、セイヨウタンポポが多いことに気づくかもしれません。というのも、セイヨウタンポポは花期が長く春から夏の終わりまで咲いているのに対し、エゾタンポポは夏を土の中で眠って過ごしているからです。また、エゾタンポポは都市化に弱く、自然の豊かな場所に咲きます。皆さんの周りには、エゾタンポポが咲けるほどの自然が残っているでしょうか？

いま、県民の森では…

冬の眠りから覚め、日、一日と表情を変えていく森のなかまたち。そのあまりの速さに追いつくのが精一杯です。例年より1週間ほど遅れていたオオヤマザクラは、5月中旬に満開でした。

「ハウチワカエデ」や「イタヤカエデ」、「クロモジ」などの花に注目！



クロモジの花

「オオルリ」発見！



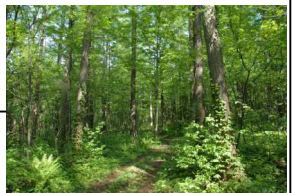
「キクザキイチゲ」の実がたくさん見られます。まるで砂糖菓子の「こんぺいとう」のようです



桜が終わると、広場は一面セイヨウタンポポにおおわれます



冒険の森の「スマレ街道」には、スマレサイシンがたくさん咲いています



「フォレストi」の椅子(いす)の話



フォレストiでひそかに人気の「イス」。その見た目のかわいらしさと座り心地から、「どこで買えるのですか？」と聞かれることもしばしば…。みなさんに少しでも、このイスのことこそお教えします！このイスは、県産材アカマツを使用してこの施設のために作った特注品。残念ながら非売品なのです。座り心地を確かめながら、試行錯誤を繰り返し完成したこの1きやくは、当然、抜群の座り心地です。ぜひ、県産材アカマツのぬくもりと座り心地を実感してみてくださいね。

しんはっけん
森発見!! 「県民の森」の歩き方

「県民の森だより」より、毎回「楽しい」自然観察をご提案しています。
 気負わずに森へ出かけてみませんか?ぜひ、県民の森でたくさんの森発見(しんはっけん)をしてください!

「わき役の観察」…たとえば、モミジやカエデの「花」。たとえば、桜の葉の紅葉。…みなさんはよく見たことがありますか?主役たちの華々しさにばかり目がいき、なかなかわき役たちの姿を気にして見ることは少ないのではないのでしょうか。わき役でも、意外とかわいかったり美しかったりするのです。秋には美しい紅葉で楽しませてくれる県民の森のカエデたちは、今盛んに花を咲かせています。ぜひ、わき役たちの活躍も見届けてあげてください。



満開の桜並木

紅葉した桜並木



「イタヤカエデ」の花



「ハウチワカエデ」の花

6月の行事予定

- 5月21日(土)~6月30日(木)
フォレストiギャラリー
「野鳥の絵画展」
- 5月29日(日)
木工教室「プランター」
(都合により22日から変更)
- 6月1日(水)~6月30日(木)
フォレストiギャラリー
「押し花アート展」
- 6月12日(日)
「新緑の七滝を訪ねよう」
(七滝目指しトレッキング!)
- 6月26日(日)
木工教室「丸型テーブル」

本の森へようこそ

毎回、フォレストiの蔵書の中から1冊ずつご紹介していくこのコーナー。今回おすすめする本はこちら!

「山溪名前図鑑 野草の名前 春」 山と溪谷社

「名前図鑑…?」とお思いの方!まず読んでみてください。
 この本には、普通の図鑑に載っているような専門的なことのほかに、名前の由来が載っているのです。

読んでいくと、「へえ〜」「ほお〜」の連続。
 このシリーズは、今回ご紹介の「春」のほかに、「夏」「秋冬」の2冊があります。
 よく見かける野草の名前の由来をこっそり覚えて、ご家族や友達に自慢してみても…!?
 読みものとしても楽しめる、おもしろ図鑑です。



編集後記

5月の中旬、みんなの広場のオオヤマザクラが満開となりました。でも、ちょうど満開の時期に雨が続き、少し残念。来年こそは「満開」と「好天」と「日曜日」がぴったり合えばいいなあと思います。
 桜も終わり、次は新緑が待ち遠しいです。

6月開花予報

初旬~中旬 セイヨウタンポポ、マイヅルソウ、ツクハネソウ、ヒメアオキ、ホオノキ、トチノキ、レンゲツツジ
 中旬~下旬 アズマギク、シロツメクサ、ヤマボウシ、フタナ などなど
 今年は全体的に開花が少し遅れているようです…

県民の森だより



vol.2 H17年6月号
発行... 岩手県県民の森



今年5月17日撮影

オオヤマザクラ (バラ科サクラ属)

春の花といえば、やはり桜ははずせません。県民の森のオオヤマザクラが満開になるのは、街の桜が終わってから。今年も多くの方がお花見にいらしていました。

さて、みなさんは「自家不和合性(じかふわごうせい)」という言葉聞いたことはあるでしょうか?サクラの仲間は、同じ木に咲く花同士で受粉しても結実しない、という自家不和合性の性質をもっています。そのため、サクラの仲間は他の樹木に比べ個体差が大きく、同じオオヤマザクラでも木によって花の色や葉の色がさまざまなのだそうです。
 う〜ん……なんだか、私たち人間が一人一人ちがうのと似ていませんか??

岩手県 県民の森管理事務所

森林ふれあい学習館
フォレストi



〒028-7302
 岩手県岩手郡松尾村寄木1-515-5
 TEL・FAX 0195-78-2092
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1006/foresti/>
 E-mail BA0005@pref.iwate.jp または foresti@mist.ocn.ne.jp(直通)

